

ながいの観光

1 長井のまつり

春のまつり

1 い さ ざ わ ね ん ぶ つ お ど り
伊佐沢念仏踊

県指定無形民俗文化財
開催日時:4月第3日曜日
場所:伊佐沢の久保ザクラ周辺

伊佐沢念仏踊は、約400年の歴史がある郷土伝統芸能です。最大の特徴は、大名行列(相撲、とり毛、奴)の要素と歌舞伎的要素です。そして、念仏踊りの三要素からなる珍しい踊りです。元は、久保ザクラの下で踊っていましたが、現在は隣接する伊佐沢小学校グラウンドで輪踊りが行われます。



2 白つつじまつり

開催日時:5月10日~5月31日
場所:白つつじ公園(松ヶ池公園)

白つつじ公園は、白つつじが満開になる5月中旬~下旬頃に、まるで雪が降り積もったかのように一面が純白の世界となります。樹齢750余年の古木をはじめ、3,000株余りの白つつじが長井の春を彩ります。また、マラソン大会や各種イベントなども開催されます。



3 ながい黒獅子まつり

開催日時:5月下旬
場所:長井市内目抜き通り及び白つつじ公園

異なる面持ちの長井市内約40の神社のうち十数社の黒獅子が一同に会し、勇壮な舞を繰り広げながら街中を練り歩きます。多人数の舞手が幕の中に入り、獅子頭を上下させず、滑るように舞う姿は「百足獅子」とも呼ばれています。それぞれの神社の獅子頭や舞い、お囃子などの違いを楽しめるのもこの祭りならではの魅力です。

平成22年度には「地域づくり総務大臣表彰 団体表彰」と「第15回ふるさとイベント大賞奨励賞」を受賞しています。



夏のまつり

1 あやめまつり

開催日時:6月中旬~7月上旬
場所:あやめ公園

全国的にも貴重な「長井古種」をはじめとする、数百種の可憐な「花菖蒲(あやめ)」が初夏の訪れを告げます。まつり期間中には、屋台、各種イベント、野だて茶会などが開催され、訪れる人を楽しませてくれます。夜にはぼんぼりが灯り、日中とは違った趣の園内を散策し、神秘的なあやめを鑑賞することができるのも魅力のひとつです。



2 長井おどり大パレード

開催日時:7月上旬
場所:長井市内目抜き通り

長井駅を出発し、長井市役所までの約500mを、地元出身の歌手が歌う「新長井おどり」に合わせ、市民が熱くにぎやかに踊り歩くお祭りです。昭和の良き時代の再現に大人は懐かしさを、子供たち



や若者は心にときめきを感じる、熱気あふれる夏の夜の一大パレードです。

3 ながい水まつり

開催日時:8月第1土曜日
場所:最上川河川緑地公園

山形を代表する最上川の発祥の地、長井市で開催される、「水」をテーマにしたイベントです。水に親しむ、さまざまな体験コーナーが設けられています。夜の花火大会では、最上川の水面が美しく彩られ、毎年、子供から大人まで多くの人で賑わいます。



秋のまつり

1 みんなの文楽（ぼくらの文楽）

開催日時:9月下旬～10月上旬頃
場所:西根地区コミュニティセンター

令和3年で10回目を迎えた「ぼくらの文楽」が令和4年より「みんなの文楽」としてリニューアルされました。「みんなの文楽」では、音楽、文化、環境や暮らしのことを考え、楽しむイベントを開催しています。講義、対談、ライブパフォーマンスのステージ、郷土料理レストランや体験ができるワークショップ、環境



にやさしい出店やショップなど、小さな子どもから年配の方までゆっくり一日過ごせるイベントです。

2 もとまち青空フェスティバル

開催日時:10月上旬
場所:桑島記念館周辺

長井市中心部の本町大通り商店街が主催となって開催する、「音楽」をテーマにした長井の秋恒例のフェスティバルです。桑島記念館前広場では、地元小・中・高校生の吹奏楽部による演奏、フリーマーケット、地元グルメが楽しめるオープンカフェ、ビンゴ大会など、楽しい内容盛りだくさんです。



3 長井1000人いも煮会

開催日時:9月下旬
場所:あやめ公園河川敷

山形名物「いも煮会」が、あやめ公園河川敷を会場に実施されます。有機肥料で育てた里芋や牛肉、地酒と地元のお醤油など、地元の食材がぎっしり詰まった「いも煮」が堪能できます。また、馬肉を使った旨いいも煮など、数種類のオリジナル芋煮も人気です。



4 マイクロマウス東北地区大会

開催日時:10月中旬
場所:置賜地域地場産業振興センター(タスビル)

自立型の知能ロボット・マイクロマウスが、自分自身の判断で複雑な迷路を自走し、ゴールまでの時間を競います。一番速いのはどのマウス？

5 ナガレンジャー ファイティングフェスタ

二足歩行ロボットの格闘技大会です。白熱のロボットバトルのほか、サッカーやかるたなどで対戦します。



6 縄文まつり

開催日時:10月中旬
場所:古代の丘

縄文太鼓の演奏や昔の人の生活を体験できるイベントです。オープニングに始まり、火起こし挑戦や昔の遊び体験、丸太切り競争など、催し物が盛りだくさんです。「縄文人ってこんな生活してたんだ!」が楽しく体験できるイベントになっています。



7 ながい産業博

場所:置賜地域地場産業振興センター(タスビル)

ものづくりのまち長井市の全産業が広く紹介されています。さまざまな体験教室のほか、フードコーナーやお楽しみ抽選会など親子で楽しめるコーナーが盛りだくさんです。



8 長井マラソン

開催日時:10月中旬
場所:市内(長井市生涯学習プラザ運動公園周辺)

山形県唯一のフルマラソンの公認大会。コースは、国際陸連公認の「ながい山の港町マラソンコース」です。かつて最上川の舟運文化で栄えた市街地と、朝日連峰の山並みを望む田園地帯の中を秋の風を感じながら走ります。



冬のまつり



1 ながい雪灯り回廊まつり

開催日時:2月第1土曜日
場所:長井市中心市街地ほか

市民手作りの雪灯りが、長井市中心市街地一帯を幻想的な雰囲気に取り囲み、寒い冬を心の底から“ぽっかぽかにあったかく”してくれるおまつりです。また、2月初めから半ばにかけ、国登録有形文化財である「旧長井小学校第一校舎」がライトアップされ、幻想的な灯りに包まれます。



2 山形鉄道フラワー長井線

フラワー長井線は、南陽市の赤湯から川西町、長井市を通り、白鷹町の荒砥^{あらと}までの片道約30kmを1時間ほどかけて結ぶ路線です。車体にはラッピングが施され、車内や車窓にも遊び心があります。

小さなお子様からご年配の方まで、見てよし!乗ってよし!のほかにはないローカル線です。



1 フラワー長井線



2 登場する主な作品

●「スウィングガールズ」

平成16年に公開された映画で、フラワー長井線の2両編成の列車が劇中で登場します。脚本、監督は矢口史靖。主演は上野樹里。

●土曜ワイド劇場「鉄道捜査官」

平成19年放送の第8話の舞台となりました。

●「奇跡体験アンビリーバボー」

平成26年4月17日放送「ローカル鉄道復活へ★新入社員が起こした奇跡」で特集されました。

●中井精也のてつたび

平成26年6月26日放送BSプレミアム
写真を通じて長井線の魅力が紹介されました。

●中国ドラマ「十年三月三十日」

令和元年9月19日より中国にて放送。主人公が恋人と出会う舞台となりました。



【スウィングガールズ号】

3 取り組み

●方言ガイド

フラワー長井線では、列車に乗りながら観光ができる、置賜弁での方言ガイドを実施しています。現在、団体旅行者向けに案内中です。乗ってみたい！という方は、直接お問い合わせください。

●イベント列車

読み聞かせ列車やハロウィン列車、ワイン列車など、さまざまなイベントが行われています。詳しくは、運営する山形鉄道のホームページをご覧ください

●レンタサイクル

長井駅では、レンタサイクルの貸し出しを行っています。自転車を借り、長井の観光名所巡りをしたいはいかがでしょうか？

●フラワー長井線 写真館



【雪解けの山と満開の桜】



【青い空、白い雲
のどかな田園風景】



【現役日本最古の鉄橋
最上川橋梁】
(旧東海道本線の木曽川橋梁を移設)



【雪原を駆ける】

長井駅

あやめ公園駅

羽前成田駅

4 フラワー長井線

山形鉄道(株)のフラワー長井線は、東京鉄道局長井^{けいべんとつどう}軽便鉄道として大正2年(1913)に赤湯～西大塚間が開通し、大正3年(1914)には長井駅まで延伸開業しました。大正11年(1922)に軽便鉄道法廃止により、国鉄「長井線」となり、大正12年(1923)には赤湯駅～荒砥^{あてらざわせん}駅間の全線が開通しました。また、大正11年(1922)に左沢線と長井線を結ぶ「左荒線」^{さこうせん}が予定路線となりましたが、実現しませんでした。その後、国鉄再建法施行により昭和61年、第三次特定地方交通線に指定され、昭和62年に国鉄からJR東日本に引き継がれた後、昭和63年から第三セクター鉄道の「フラワー長井線」として、山形鉄道株式会社が経営しています。

昭和11年に建てられ、多くの乗降客と長井の発展を見守ってきた長井駅舎でしたが、平成31年に取り壊され、令和3年5月、長井市役所と合築施設として生まれ変わりました。

羽前成田駅は、大正11年(1922)に国鉄長井線の長井駅から鮎貝^{あゆかい}駅までの、延伸開通とともに開業しました。駅舎は、西大塚駅とともに国鉄時代からの古い木造建築で、窓口や出札口、ベンチなどは当時のまま残されており、ノスタルジックな雰囲気のある建物です。平成27年には、西大塚駅と羽前成田駅が国の登録有形文化財に登録されました。

しろうぎえき
白兔駅

あゆかいえき
鮎貝駅

あてらざわえき
荒砥駅

しきのさとえき
四季の郷駅

あゆかいえき
鮎貝駅

3 長井の観光・イベント関連スポット

1 三淵溪谷 みふちけいこく

長井市を縦断して、最上川にそそぐ清流「野川」の上流にある溪谷です。野川本流と布谷沢のだにざわが合流するここは、古くから里人達の厚い信仰を集め、多くの神秘と伝説を伝える長井の聖地となっています。



2 最上川ビューポイント

「最上川発祥の地」と彫り込まれた石碑が立つ、豊田地区のビューポイントです。ゆったりとした松川に、流れの速い白川が入り込んで白波を立て、川はS字を描いて下流を目指します。



3 梅花藻 ばいかも

清流に咲く花「梅花藻」は、梅の花に似た5枚の花弁の小さな花を咲かせることが名前の由来です。水温14度前後の水質がきれいな川でしか育たず、山形県では準絶滅危惧種に指定されています。見頃は7月中旬から8月下旬です。



4 けん玉ひろばSPIKe

長井駅前にあるけん玉コミュニケーションスペースです。長井市が誇るけん玉を気軽に楽しく体験でき、けん玉検定も受けることができます。また、けん玉やけん玉ホルダーなどの販売も行っています。



5 菜なポート

市民直売所おらんだ市場菜なポートは、地域の生産者と消費者の交流の場として、市民の皆様へ安心安全な農産物、地場製品の販売を行っています。

令和元年11月に松ヶ池公園北側から本町へ移転し、装いも新たにオープンしました。



6 最上川河川緑地公園

最上川沿いにある河川公園です。多目的グラウンドや噴水のある水の広場があります。また、「ながい水まつり・最上川花火大会」の主会場として多くの人で賑わいます。



7 置賜生涯学習プラザ運動公園

置賜生涯学習プラザはスポーツ大会・文化事業などの多様な用途に対応する多目的施設です。各種イベントはもちろん、長井マラソンのスタート地点となるなど、各種研修やスポーツイベントの拠点となっています。

また、運動公園は防災機能を備えた都市公園として、平成27年（2015）に共用を開始し、陸上競技場（第3種公認競技場）は平成30年度より「光洋精機アスリートフィールド長井」の愛

称で親しまれています。

多目的広場、芝生広場を備え、周囲には外回り1周770m、内回り450mのウォーキングコースも整備されています。



4 長井のアクティビティ

1 水陸両用バス in ながい百秋湖

長井ダムのダム湖である「ながい百秋湖」で、陸上と水上を走行することができる「水陸両用バス」を運航しています。水陸両用バスは窓にガラスがない仕様になっていて、出発地点の道の駅川のみなと長井から到着地点の折草沢まで、風を受けながら長井のまちを見ることができます。湖面に入水する際の「ザブ～ン！」は迫力満点で、普段はできない体験ができます。入水した後はゆったりとした水上クルージングを満喫でき、ながい百秋湖の大自然を堪能することができます。運が良ければ、熊やカモシカなどの動物にも出会える珍しい体験ができるかもしれません。



2 絶景・三淵溪谷通り抜け参拝

長井ダム（ながい百秋湖）の上流部には、「三淵（みふち）」と呼ばれる深い溪谷があります。三淵溪谷は、川幅3～5mと非常に狭く、高さ50mを超える断崖絶壁が約250m続き、狭い川幅から現在では、ボートでしか行くことができない場所となっています。卯の花姫伝説が残るこの溪谷は、パワースポットと呼ぶにふさわしい神聖な場所です。

特定非営利活動法人最上川リバーツーリズムネットワークで運航しているボートツーリング「絶景・三淵溪谷通り抜け参拝」では、往復約1時間をかけて、迫力ある溪谷と神秘的な空間が調和した景観美を堪能することができます。



3 ながい百秋湖 遊覧船

周囲の山々が美しく紅葉するながい百秋湖の中を遊覧船で進み、湖面に映える景色を見ながらの船旅を楽しむことができます。1 周約 45 分かけてゆったりと進み、日々の喧騒を忘れ、素敵な時間を体感できます。ガイドが同行しますので、長井ダムの歴史や三淵と卯の花姫の伝説などの貴重な話も聞くこともでき、見てよし聞いてよしの体験で、大変人気となっています。



4 サップ SUP体験

SUP とは、スタンドアップパドルボードの略で、ハワイ発祥のマリンスポーツです。浮力のある専用のボードの上に立ち、パドルを漕いで水面を進んでいく新感覚のアクティビティです。ながい百秋湖で行っており、普段行くことができない狭い場所にも行くことができ、非現実的な体験ができます。また、SUP の上で寝転んだり、ヨガやエクササイズを行ったりとたくさんの楽しみ方があるのも SUP の魅力です。長井市の SUP 体験は、ガイドも同行するため、レクチャーを受けながら、ガイドしか知らないおもしろい話も聞くことができるので、誰でも安心して乗ることができます。



5 水上自転車体験

水上自転車は、両脇にフロートが付いており、水上を走行すると、不思議な浮遊感を体験できる、ヨーロッパ発祥のアクティビティです。日本では珍しく、瀬戸内地方と長井市でしか行われていません。ながい百秋湖を周辺の自然を眺めながら爽快に走行でき、安定感もあるため、初心者でも安心して乗ることができます。疲れた時は立ち止まって、自然を楽しみ、日々の疲れを癒すこともできます。速度も自分の漕ぎ方次第で様々変えられるため自分のペースで楽しめるのも魅力の一つとなっています。



5 長井の食・おみやげ

1 しその実漬け

国産のしその実と、細かく刻んだたくさんの野菜を秘伝の味付けで仕込んだお茶請けやご飯のお供にぴったりのお漬物です。



2 なが〜いふ

まるでフランスパンのような見た目がインパクト大！“道の駅川のみなと長井限定”の長〜い麩です。

煮物はもちろん、唐揚げや酢の物、卵・牛乳と合わせて麩レンチトーストなど様々な調理法でお召し上がりください。



3 あやめかりんとう

長井市のシンボル「あやめ」の花びらをイメージした平たい形のかりんとう。ザクザクの香ばしい生地に、黒糖がたっぷりついたどこか懐かしさを感じる長井名物です。



4 味付け玉こんにゃく

山形県は一世帯当たりのこんにゃくにゃく消費量日本一。するめや醤油で味付けした味付け玉こんにゃくは、お花見やお祭り、観光地に欠かせないソウルフードです。



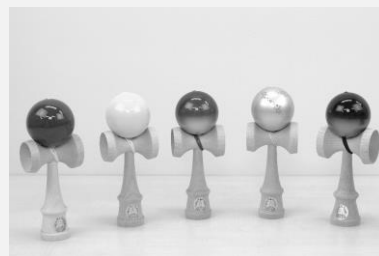
5 鯉の甘煮

鯉は栄養価が高く、古くから内陸部の貴重なたんぱく源として食べられてきました。砂糖や醤油で甘辛く煮付けられた「鯉の甘煮」は、今でもお正月や来客などハレの日には欠かせない置賜地域の郷土料理です。



6 けん玉「大空」

日本けん玉協会による級・段位の認定を受けることができるの公認けん玉です。けんは厳選されたブナやカエデを使用し、長さ16.0cm、サクラの木材を使用した玉は直径6.0cmと競技用けん玉には1mmの誤差も許されない厳しい規格が求められます。



7 クラフトビール

・ひょう 山形県置賜地方で食べられる野草のひょう（別名 スペリヒユ）を副原料としたペールエール。ひょうは多年生植物の一種で、山形ではおひたしや干して保存食として食され、縁起物でもある郷土食材です。ホップの香りの後に残るわずかなひょう干しの酸味が和食にもよく合います。ひょっとして良いことがあるかも。

・きなこ 山形県の内陸で作られる稀少な枝豆の一種で、一般的な枝豆と比べると大きく、香りの高い青大豆「秘伝豆」を挽いたきなこを副原料としたペールエールです。ホップの香りの後に、柔らかな大豆の香りが感じられます。オススメは、グラスに注いだビールの泡に黒蜜のトッピング。

・くきたち 「茎たち菜」と呼ばれるアブラナ科植物の、茎が伸びたものの総称である「くきたち」。おひたしや天ぷらで春の味として親しまれ、乾燥させたものは煮物などで食されます。くきたち干しのほろ苦さと、ホップの香りのバランスにこだわったIPAスタイルのビールです。このほかにも地元産の素材を使った新フレーバーのビールを取り扱い予定。



8 山形県産プレミアムジュース

実割れや変形、色落ちなどで生食用として出荷されなかった規格外の完熟果実を、採れたてそのままに糖類や水を一切加えず搾った果汁100%ジュース。素材そのままの味と香りを生かした、まさに”プレミアム”な味わいです。



9 きくいも加工品

きくいもは、水溶性食物繊維のイヌリンという成分を多く含み、またイヌリン以外にもミネラルやポリフェノールなどを含む優良な健康食材として注目されています。長井市産のきくいもを手軽に食べていただけるよう加工した乾燥チップスやきくいも麩などが人気です。



10 行者菜

行者にんにくとニラを掛け合わせ誕生した新野菜「行者菜」は、修験者が荒行の際、精をつける為に食べたと言われる行者にんにくをものぐ滋養のもとを含んだミラクル野菜。見た目はニラとそっくりですが、葉は厚く、炒めてもシャキシャキとした歯ごたえが残るのが特徴です。根本はニンニクのような香りを生かしてそのまま薬味として食べるのがおすすめ。



11 みそ餅

みそ餅は、山形県内でも置賜地域だけで食べられるソウルフード。砂糖を加えて煮詰めたみそをつきいれ、青豆やくるみ、ごまを加えた甘じょっぱくて香ばしい風味が特徴の冬の定番おやつです。



12 日本酒

・寺嶋酒造本舗

明治34年(1901)創業。酒銘の“朝瀧”は朝日連峰より流れ落ちる滝の音があたかも酒樽を打つ音のように聞こえたことに由来しています。

(代表銘柄：朝瀧、黒獅子の里)

・長沼合名会社

大正5年(1916)創業。当主は代々惣右衛門を名乗り、養蚕業や呉服店を営んできましたが、

10代長沼惣右衛門が酒造業を開始し、現在3代目。すべて手作業による仕込みにこだわる酒蔵です。(代表銘柄：誉小桜、惣邑)

・株式会社鈴木酒造長井蔵

昭和6年(1931)創業。福島県双葉郡浪江町にあった請戸本蔵が震災によって壊滅的打撃を被り、一時生産を断念するも、平成23年に現在の蔵で仕込みを再開しました。(代表銘柄：磐城壽、一生幸福)

6 長井の観光関係団体

1 長井市観光協会

平成29年4月から道の駅「川のみなと長井」に拠点を置き、長井市の観光案内を行っています。また、長井市からの委託により、白つつじまつり、ながい黒獅子まつり、あやめまつり、水まつりなど、様々な観光イベントを実施しています。

2 (一社) やまがたアルカディア観光局

平成31年2月に長井市・南陽市・白鷹町・飯豊町によって設立された観光地域づくり法人です。令和3年4月に小国町を加え、5市町の観光PRや旅行商品の予約販売、お土産商品の開発なども手掛けています。広域でお客様が回遊できるような「滞在型旅行商品」を企画し、経済活動を促す取り組みを行っています。インバウンド向け旅行商品の開発や受け入れ態勢の整備にも力を入れています。

3 ながい黒獅子の里案内人

平成13年に観光ボランティアガイド「ながい黒獅子の里案内人」が発足しました。桜、あやめの時期には各まつり会場に常駐してお客様をご案内します。他にも、市内のまちなか案内や、最上川フットパスルートの案内も行っており、訪れた観光客を笑顔でおもてなししています。

4 けん玉のふる里プロジェクト

競技用けん玉の生産量日本一を誇る長井市のけん玉でまちづくりを推進するため、平成26年にプロジェクトが始動しました。観光誘客の受け皿と仕組みを作り、けん玉に親しめる環境整備とけん玉人口を増やすことを目指して活動しています。

5 特定非営利活動法人

最上川リバーツーリズムネットワーク

自然豊かな最上川と沿川の地域資源をつないだリバーツーリズムを歩き主体の散策・探訪の充実、美しい川なみ・街なみの形成、地域づくりの人材育成を行っています。また、リバーツーリズムの調査研究事業を通じて発展させ、旅行者にも流域住民にとっても魅力的な最上川リバーツーリズムを流域が一体になって推進し、もって豊かな自然と文化を持つ最上川を保全し、持続可能で市民の活力があふれる地域社会の実現に寄与することを目的としています。

7 長井のキャラクター

長井北中学校まちなかデザインプロジェクト 2008



ししまいく



ししまいこ



あや姫

長井ダムシンボルキャラクター



ながい黒獅子大綱引き

ながい雪灯り回廊まつり
イメージキャラクター



雪ん子ちゃん

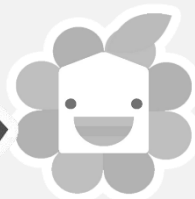


あそぼうず

フラワー長井線
イメージキャラクター



もっちゃん 駅長



はなえ 花笑ちゃん

長井商工会議所
公認キャラクター



バーニック・ナガイ

ながいファン倶楽部
公認キャラクター



あやめちゃん

レインボープラン
公認キャラクター



プリンス レインボー王子